



公立大学法人
神戸市外国語大学

神戸市外国語大学データ集

データでみる神戸市外大

2021 年度



【目次】

0	概要	1
1	歴史	2
1-1	沿革	2
1-2	歴代学長	3
1-3	累計卒業生数	3
2	教育	4
2-1	学生数	4
2-2	入試実施状況	5
2-3	出身地域別入学者割合	6
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	7
2-5	就職状況	8
2-6	資格等取得状況	9
2-7	語学運用能力の成長	11
2-8	課外活動状況	13
3	研究	16
3-1	科学研究費助成事業	16
3-2	学術論文	20
3-3	研究支援事業	28
4	国際交流	29
4-1	留学状況	29
4-2	国際交流協定	33
5	地域貢献・地域連携	35
5-1	地域行政、団体などとの協力	35
5-2	市民講座・公開講座等	36
5-3	学生ボランティア活動	37
6	教職員	38
6-1	教員数	38
6-2	職員数	38
7	財務状況	39
8	図書館	40

※このデータ集は、原則として前年度（2020年度）時点での状況をまとめているが、一部2021年度の情報が記載されている項目もある

0 概要

■大学名称 公立大学法人 神戸市外国語大学
英語名 : Kobe City University of Foreign Studies

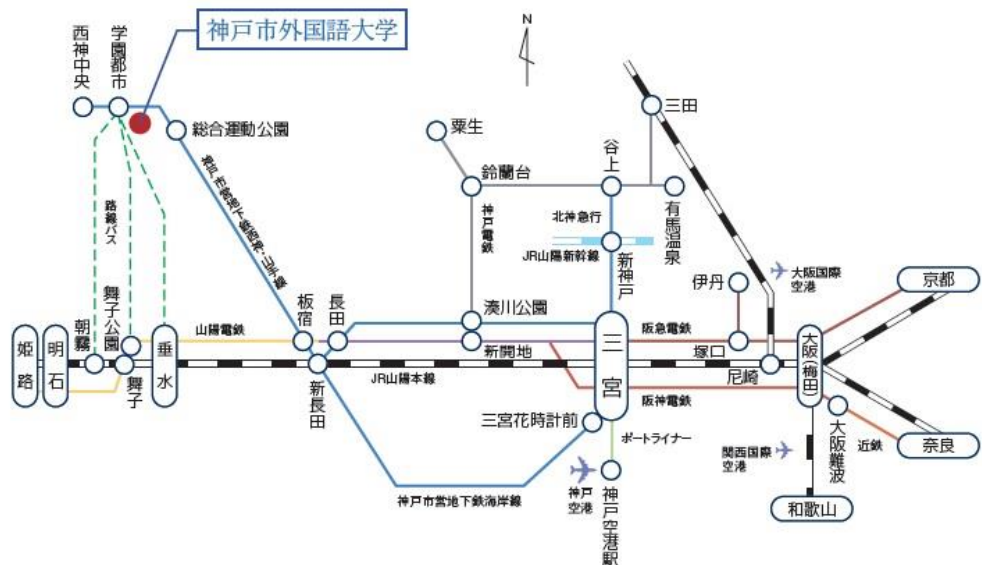
■キャンパス面積 校地面積 : 84,980.4 m²
校舎面積 : 27,407.0 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部 外国語学部 英米学科
(学部) ロシア学科
中国学科
イスパニア学科
国際関係学科

外国語学部第2部英米学科

(大学院) 外国語学研究科 英語学専攻
ロシア語学専攻
中国語学専攻
イスパニア語学専攻
国際関係学専攻
日本アジア言語文化専攻
英語教育学専攻
文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学へ昇格（外国語学部 to 英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を増設
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を増設
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を増設
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 カリキュラムを抜本的に改正（学部に総合文化コースを設置）
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）と
単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 新カリキュラム開始
（学部に国際コミュニケーションコースを設置）
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 修士課程を改編し、新たに「論文コース」と「課題研究コース」を設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 模擬国連世界大会を神戸で開催
- 2019 第3期中期計画スタート

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 榮一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～2021.3.31
	田中 悟	2021.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部（2021年3月31日現在）

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	7,730
	ロシア学科	2,224
	中国学科	2,576
	イスパニア学科	2,033
	国際関係学科	2,440
外国語学部第2部 英米学科		5,755
合計		22,758

■大学院（2021年3月31日現在）

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	289
	ロシア語学専攻	47
	中国語学専攻	50
	イスパニア語学専攻	68
	国際関係学専攻	180
	日本アジア言語文化専攻	195
	英語教育学専攻	116
	合計	945
博士課程	文化交流専攻	※79
合計		1,024

※博士課程（文化交流専攻）における79は、博士の学位授与数

2 教育

2-1 学生数

■学部

※2020年5月1日現在

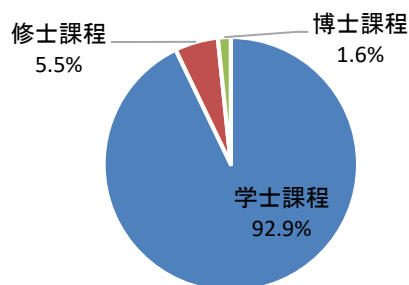
学部・学科別	定員	1年			2年			3年			4年			合計			
		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		
外国語学部	英米学科	560	148	51	97	148	50	98	203	67	136	175	67	108	674	235	439
	ロシア学科	160	42	10	32	52	22	30	56	24	32	48	17	31	198	73	125
	中国学科	200	55	10	45	54	14	40	69	17	52	66	12	54	244	53	191
	イスパニア学科	160	44	12	32	46	20	26	49	19	30	51	15	36	190	66	124
	国際関係学科	320	86	23	63	93	25	68	121	34	87	106	32	74	406	114	292
学部計	1400	375	106	269	393	131	262	498	161	337	446	143	303	1712	541	1171	
外国語学部第2部英米学科	320	84	39	45	101	48	53	104	36	68	104	37	67	393	160	233	
合計	1720	459	145	314	494	179	315	602	197	405	550	180	370	2105	701	1404	

■大学院

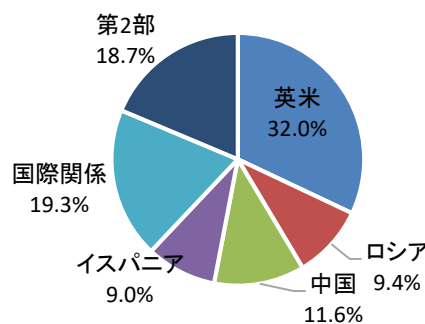
※2020年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年			2年			3年			4年			合計			
		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		
修士課程	英語学専攻	20	5	0	5	6	2	4	/	/	/	/	/	/	11	2	9
	ロシア語学専攻	10	2	0	2	0	0	0	/	/	/	/	/	/	2	0	2
	中国語学専攻	10	5	2	3	3	1	2	/	/	/	/	/	/	8	3	5
	イスパニア語学専攻	10	3	2	1	2	0	2	/	/	/	/	/	/	5	2	3
	国際関係学専攻	20	4	2	2	8	2	6	/	/	/	/	/	/	12	4	8
	日本アジア言語文化専攻	24	20	4	16	25	8	17	/	/	/	/	/	/	45	12	33
	小計	94	39	10	29	44	13	31	/	/	/	/	/	/	83	23	60
英語教育学専攻	20	11	5	6	31	9	22	/	/	/	/	/	/	42	14	28	
合計	114	50	15	35	75	22	53	/	/	/	/	/	/	125	37	88	
博士課程	文化交流専攻	36	10	8	2	9	4	5	18	8	10	/	/	/	37	20	17
合計	150	60	23	37	84	26	58	18	8	10	/	/	/	162	57	105	

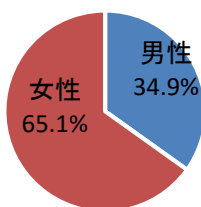
課程別学生数(学士・修士・博士)



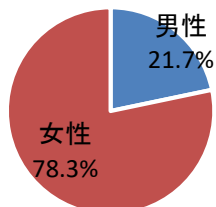
学科別学生数(学部)



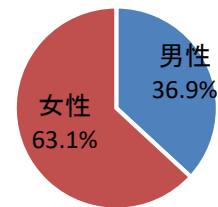
英米学科



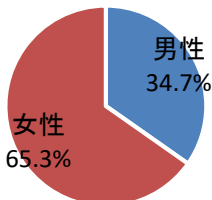
中国学科



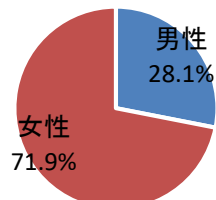
ロシア学科



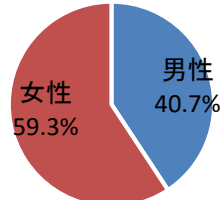
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科

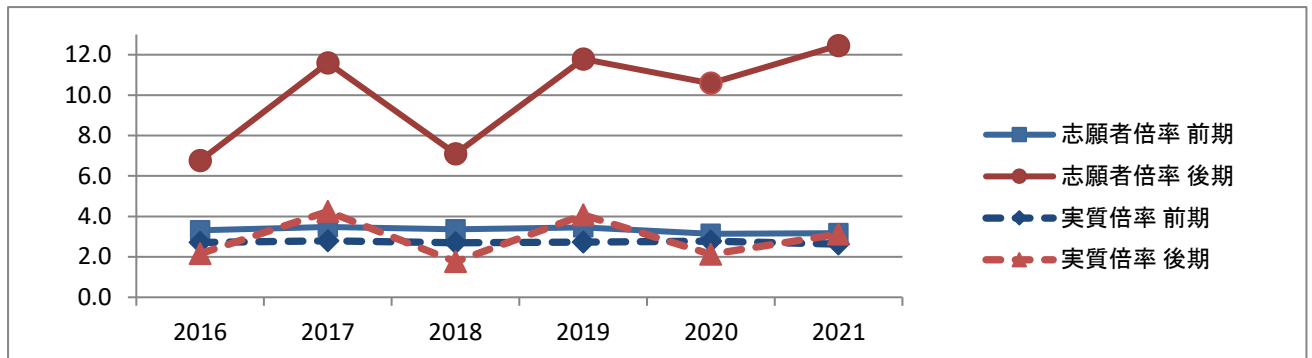


2-2 入試実施状況

■2021年度入学試験実施状況（2020年度実施）

学部	入試区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者倍率	競争率	昨年度競争率	
	学科別		A 人	B 人	C 人	D 人	人	B/A 倍	C/D 倍	倍	
学部	英米 学科	総合型	総合型	若干名	77	27	12	12		2.3	3.3
		学校推薦	市内枠	7	19	18	7	7	2.7	2.6	2.1
			全国枠	7	79	79	11	11	11.3	7.2	3.6
		一般選抜	前期	95	294	280	103	96	3.1	2.7	2.7
			後期	15	233	76	19	17	15.5	4.0	2.4
		特別選抜	帰国		1	1	0	0			
	外国人		若干名	0	0	0	0				
	ロシア 学科	総合型	総合型	若干名	9	9	3	3		3.0	2.0
		学校推薦	市内枠	2	2	2	1	1	1.0	2.0	2.0
			全国枠	2	6	6	3	3	3.0	2.0	2.0
		一般選抜	前期	26	51	50	30	29	2.0	1.7	2.4
			後期	7	51	9	7	4	7.3	1.3	3.6
		特別選抜	帰国		0	0	0	0			
	外国人		若干名	0	0	0	0				
	中国 学科	総合型	総合型	若干名	18	11	6	6		1.8	2.0
		学校推薦	市内枠	3	5	5	3	3	1.7	1.7	2.0
			全国枠	2	10	10	3	3	5.0	3.3	1.3
		一般選抜	前期	32	113	108	35	34	3.5	3.1	2.9
			後期	6	65	19	7	6	10.8	2.7	3.0
		特別選抜	帰国		0	0	0	0			
外国人	若干名		0	0	0	0					
イスパニア 学科	総合型	総合型	若干名	17	11	4	4		2.8	2.0	
	学校推薦	市内枠	2	4	4	1	1	2.0	4.0	2.5	
		全国枠	2	11	11	3	3	5.5	3.7	3.0	
	一般選抜	前期	26	86	83	29	28	3.3	2.9	2.8	
		後期	6	82	21	7	6	13.7	3.0	2.2	
	特別選抜	帰国		0	0	0	0				
外国人		若干名	0	0	0	0					
国際関係 学科	総合型	総合型	若干名	58	40	8	8		5.0	5.7	
	学校推薦	市内枠	4	13	13	4	4	3.3	3.3	2.0	
		全国枠	4	53	52	7	7	13.3	7.4	2.8	
	一般選抜	前期	51	172	160	61	57	3.4	2.6	2.5	
		後期	10	191	41	11	8	19.1	3.7	1.6	
	特別選抜	帰国		6	6	1	0				
外国人		若干名	0	0	0	0					
学部計	総合型	総合型	若干名	179	98	33	33		3.0	3.5	
	学校推薦	市内枠	18	43	42	16	16	2.4	2.6	2.1	
		全国枠	17	159	158	27	27	9.4	5.9	2.9	
	一般選抜	前期	230	716	681	258	244	3.1	2.6	2.7	
		後期	44	622	166	51	41	14.1	3.3	2.3	
	特別選抜	帰国		7	7	1	0				
外国人		若干名	0	0	0	0					
第2部 英米学科	総合型	総合型	若干名	4	4	0	0		-	4.0	
	学校推薦	市内枠	4	10	10	4	4	2.5	2.5	2.3	
		全国枠	42	145	137	53	47	3.5	2.6	3.3	
	一般選抜	前期	15	113	47	17	16	7.5	2.8	1.6	
		後期	20	25	25	19	18	1.3	1.3	2.1	
	特別選抜	社会人									
合計	総合型	総合型	若干名	183	102	33	33		3.1	3.5	
	学校推薦	市内枠	22	53	52	20	20	2.4	2.6	2.1	
		全国枠	17	159	158	27	27	9.4	5.9	2.9	
	一般選抜	前期	272	861	818	311	291	3.2	2.6	2.8	
		後期	59	735	213	68	57	12.5	3.1	2.1	
	特別選抜	社会人	20	25	25	19	18	1.3	1.3	2.1	
		帰国		7	7	1	0				
	外国人	若干名	0	0	0	0					
	総合型	小計	若干名	183	102	33	33		3.1	3.5	
	学校推薦	小計	39	212	210	47	47	5.4	4.5	2.5	
一般選抜	小計	331	1596	1031	379	348	4.8	2.7	2.6		
特別選抜	小計	20	32	32	20	18	1.6	1.6	2.3		
			430	2023	1375	479	446	4.7	2.9	2.6	
大学院	修士課程		57	40	40	28	28	0.7	1.4	1.3	
	英語教育学専攻		10	4	4	2	2	0.4	2.0	1.5	
	博士課程		12	9	9	8	8	0.8	1.1	1.0	

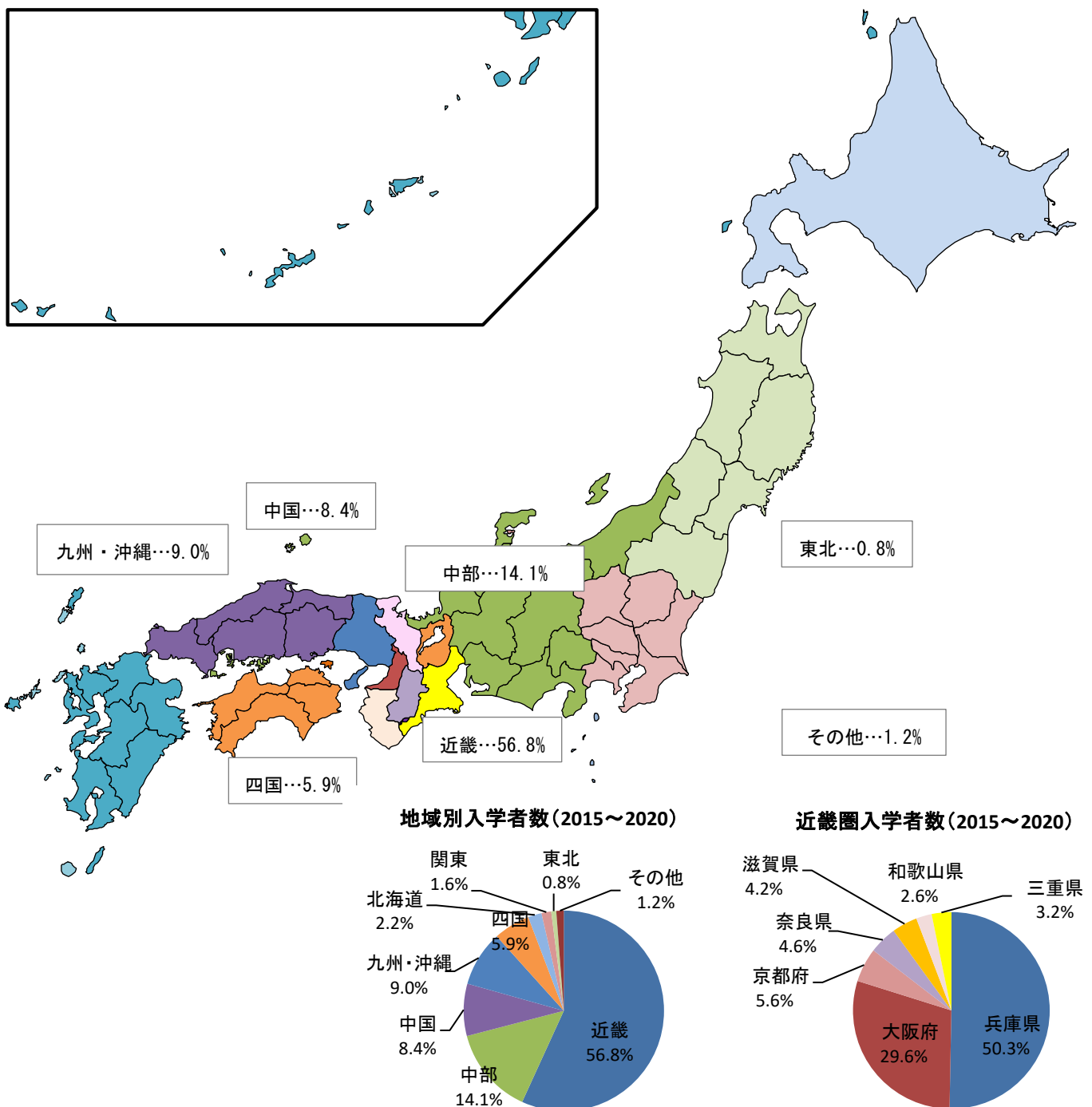
■ 志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



※入試年度は、受験生が入学する年の西暦で表記（2021 は 2020 年度に実施した入試を指す）

2-3 出身地域別入学者割合

■ 過去 6 年間（2015～2020 年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）

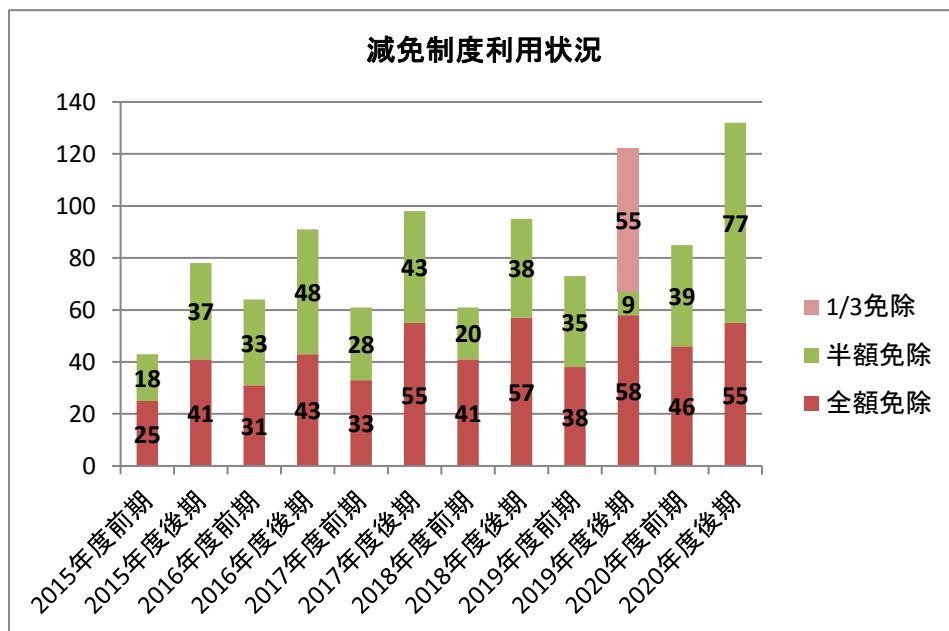


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉学したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■授業料減免制度

学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額等を免除するもの。

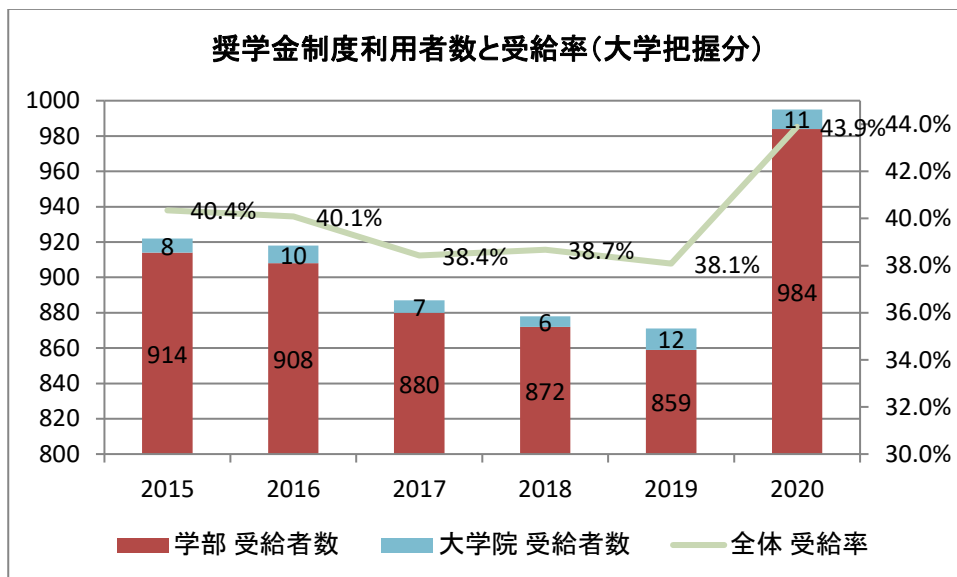


※2019年度後期については予算上限の関係上、留学生の授業料を3分の1の免除とした。

■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構をはじめとする各種制度がある。

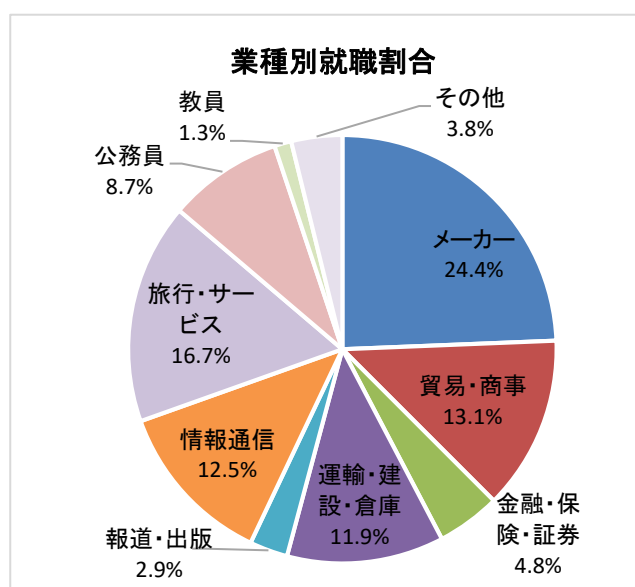
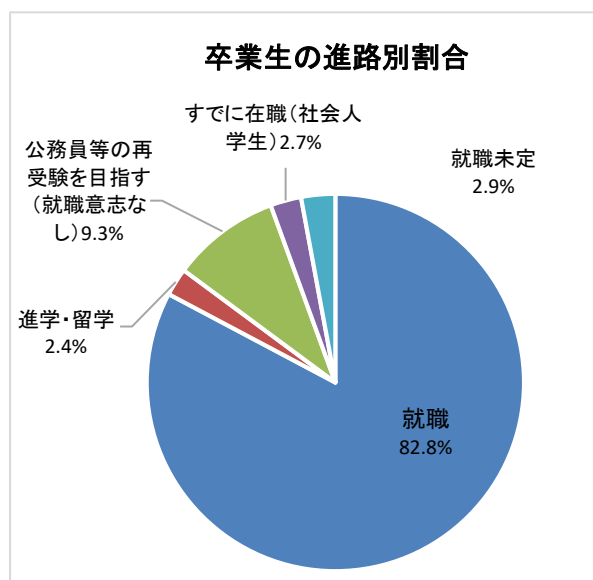
※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。



2-5 就職状況

■学部卒業生の学科別進路状況（2020年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志な し)	すでに 在職 (社会 人学 生)	就職 未定
		メー カー	貿易・ 商事	金融・ 保険・ 証券	運輸・ 建設・ 倉庫	報道・ 出版	情報 通信	旅行・ サー ビス	公務 員	教員	その 他	合計				
英米学科	129	25	12	8	18	2	10	19	14	2	2	112	3	10	0	4
ロシア学科	28	6	2	0	4	3	4	4	1	0	2	26	0	2	0	0
中国学科	42	16	4	1	1	0	2	8	3	0	1	36	1	3	0	2
イスパニア学科	39	9	6	1	5	0	5	5	4	0	0	35	0	3	0	1
国際関係学科	74	12	9	4	3	1	11	11	4	1	6	62	3	8	0	1
第2部英米学科	65	8	8	1	6	3	7	5	1	1	1	41	2	9	10	3
合計	377	76	41	15	37	9	39	52	27	4	12	312	9	35	10	11



■主な就職先（順不同）

- 【メーカー】 カゴメ、ヤクルト本社 トヨタ自動車、川崎重工業③、IHI、クボタ、日本精工③、ジェイテクト、椿本チエイン、日立製作所、三菱電機②、日本電産、村田製作所、堀場製作所、沖電気工業、マキタ②、デンソーテン、ノーリツ、兵神装備、中西金属工業、矢崎総業、住友金属鉱山、住友大阪セメント、キヤノンメディカルシステムズ、明治製菓ファルマ、関西ペイント、日本ペイント②、三ツ星ベルト、バンドー化学、コスモ石油、アシックス、ミズノ②、ナイキ・ジャパン、TOA②、ショーワグローブ、ミサワホーム、フジテック、ニチパン、積水ハウス、シンフォニアテクノロジー②
- 【貿易・商社】 日鉄物産、岩谷産業、岡谷鋼機 守谷商会、ニトリ②、ファーストリテイリング、コープこうべ、富士貿易②
- 【金融】 リソナ銀行、横浜銀行、みなと銀行、SMBC 日興証券、大同生命保険
- 【運輸・物流】 日本貨物航空、那覇空港ビルディング、三井倉庫ホールディングス、阪神国際港湾、日新②、阪急阪神エクスプレス④、近鉄トレーディングサービス③、西日本鉄道国際物流本部、山九、住商グローバル・ロジスティクス、SG ホールディングス
- 【旅行・サービス】 電通、アクセンチュア、船井総合研究所、オリエンタルランド、楽天⑥ CKTS、近鉄・都ホテルズ、阪急阪神ホテルズ、神戸ポートピアホテル、日本旅行、阪急交通社
- 【情報・通信、報道・出版、サービス】 日本IBM②、NTT西日本、バンダイナムコエンターテインメント、ソニー・ミュージックエンターテインメント、Sky、日本放送協会②(記者職・地域採用アナウンサー)、ベネッセコーポレーション
- 【公務員・政府機関等】 外務省専門職(英語)、外務省専門職(スロバキア語)、防衛省専門職本省内部部局(安全保障関連行政及び高官通訳)、航空自衛隊幹部候補生(飛行要員)、航空管制官、神奈川県警通訳職(英語)、神奈川県警通訳職(スペイン語)、千葉県警通訳職(英語)、近畿運輸局、大阪出入国在留管理局③、福岡出入国在留管理局、名古屋出入国在留管理局、兵庫県庁、大阪府庁②、香川県庁、神戸市役所②、加古川市役所、川西市役所、国際協力機構(JICA)、独立行政法人中小企業基盤整備機構、神戸市教育委員会事務職員、三重県小中学校事務職員

2-6 資格等取得状況

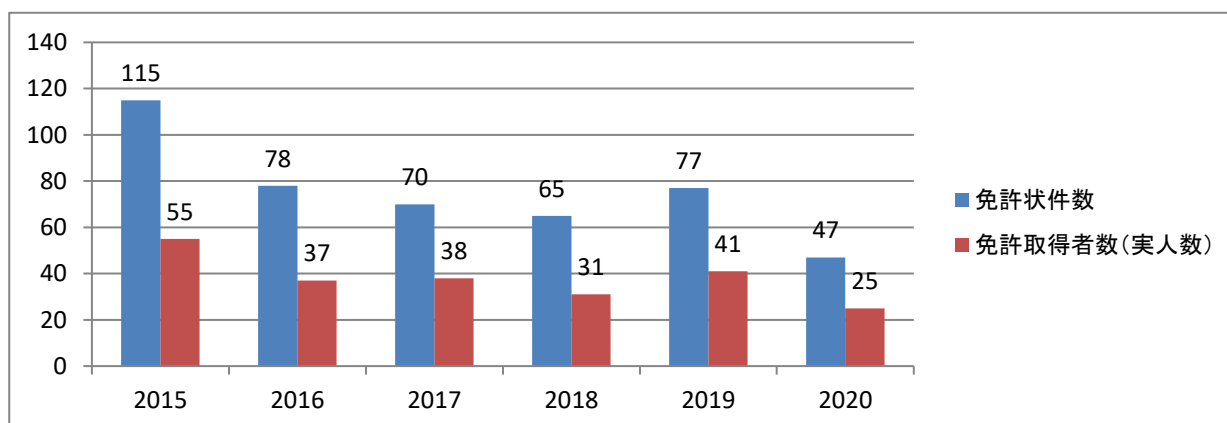
■教員免許

【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

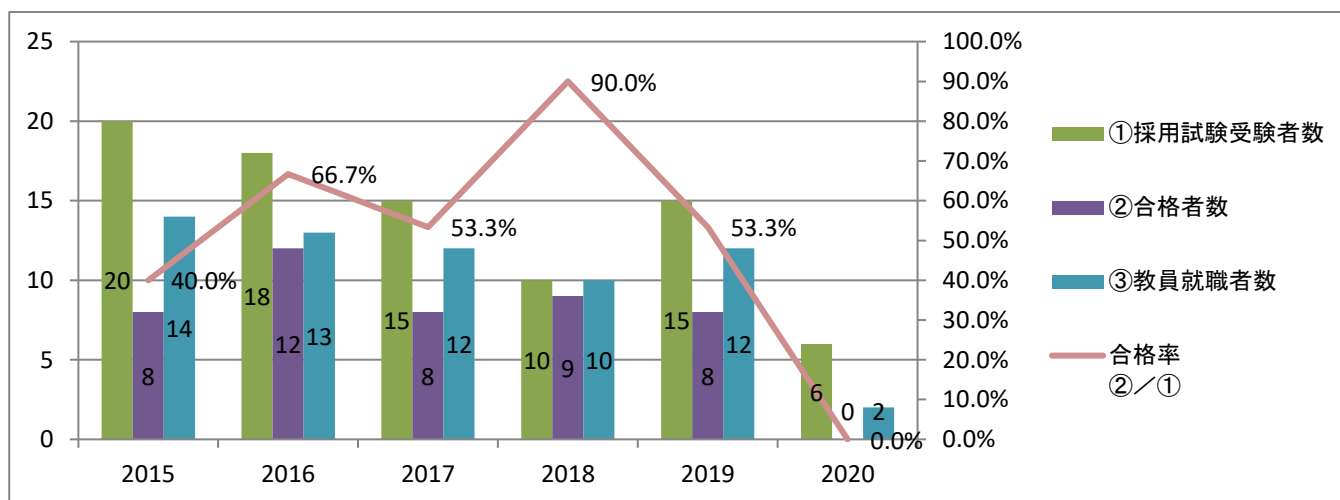
年度		英語							ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部						
2015	中1種	44	19	3	2	3	9	8	2	2	4	/	52	55
	高1種	54	27	3	2	4	9	9	2	2	5	0	63	
2016	中1種	27	4	1	1	5	6	10	1	1	5	/	34	37
	高1種	37	5	2	1	5	10	14	1	1	5	0	44	
2017	中1種	28	15	0	1	0	2	10	0	1	0	/	29	38
	高1種	38	21	1	1	0	4	11	1	1	0	1	41	
2018	中1種	25	10	1	3	0	2	9	1	3	0	/	29	31
	高1種	31	14	1	3	1	3	9	1	3	1	0	36	
2019	中1種	30	15	1	2	0	1	11	1	1	0	/	32	41
	高1種	41	17	1	4	1	4	14	1	2	1	0	45	
2020	中1種	18	6	0	0	3	6	3	0	0	2	/	20	25
	高1種	25	9	0	2	3	7	4	0	0	2	0	27	

	英語		合計
	英語学	英語教育学	
中専免	0	0	0
高専免	0	0	0
中専免	0	2	2
高専免	1	3	4
中専免	1	3	4
高専免	2	3	5
中専免	0	3	3
高専免	0	3	3
中専免	2	4	6
高専免	2	4	6
中専免	0	2	2
高専免	0	2	2

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



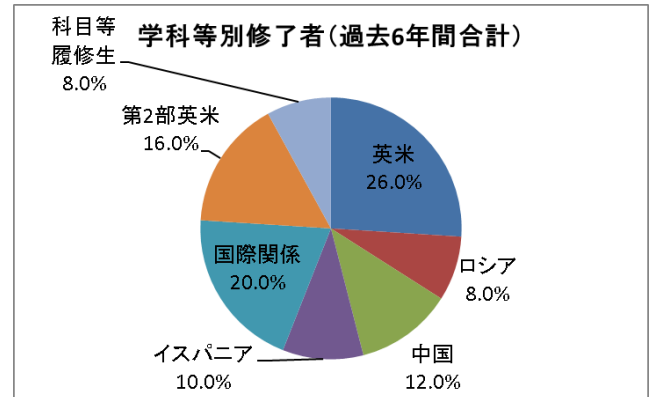
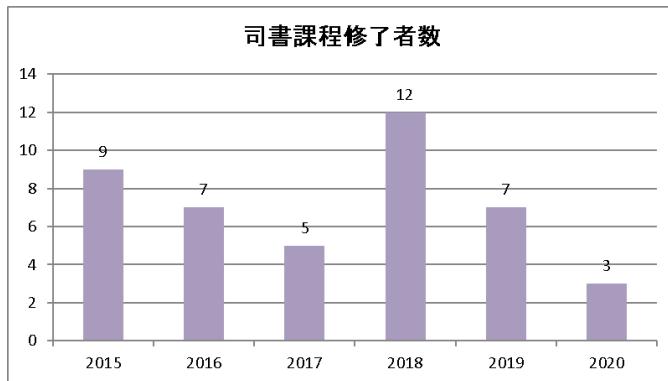
※受験者数、合格者数には私立を含む。

※採用試験合格により就職した者に加え、講師登録により就職（非常勤含む）をした者を含む。

■司書資格

【司書課程修了者数】

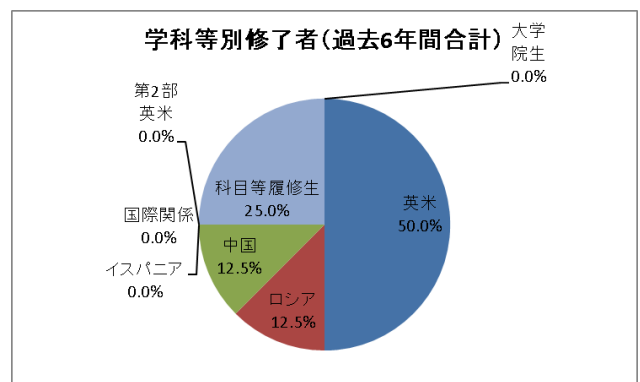
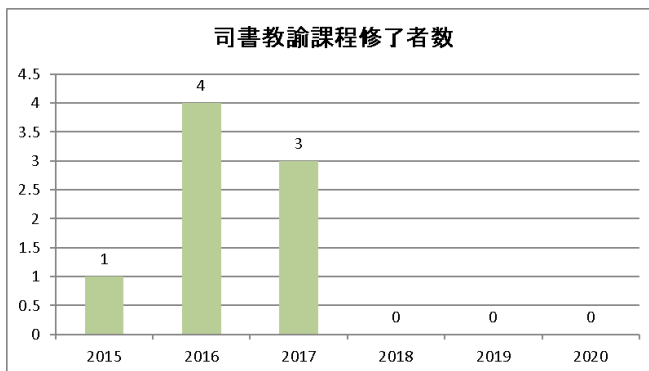
資格	学科	2015	2016	2017	2018	2019	2020
司書	英米	3	0	3	5	1	0
	ロシア	1	0	0	1	2	0
	中国	0	3	0	1	1	0
	イスパニア	1	0	0	0	1	1
	国際関係	1	2	1	1	2	2
	第2部英米	1	2	1	3	0	0
	科目等履修生	2	0	0	1	0	0
	合計		9	7	5	12	7



■学校図書館司書教諭資格

【司書教諭課程修了者数】

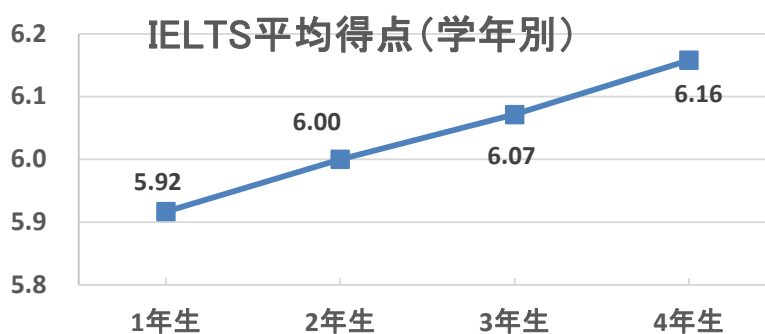
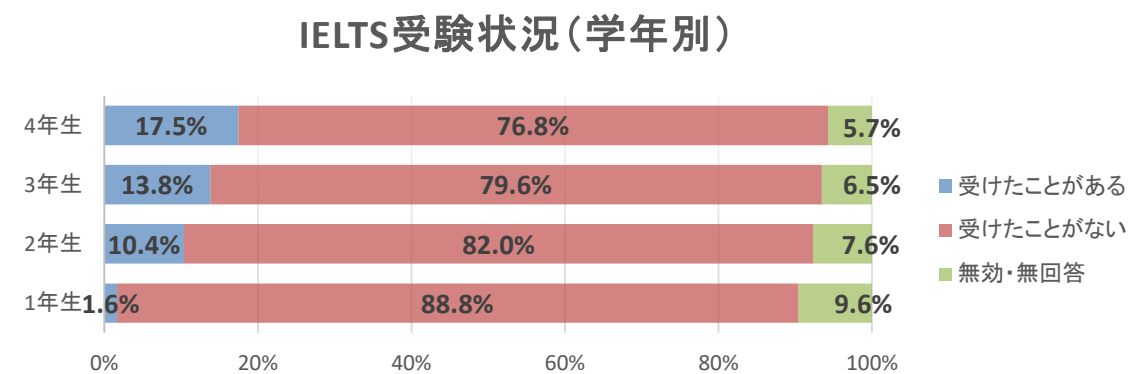
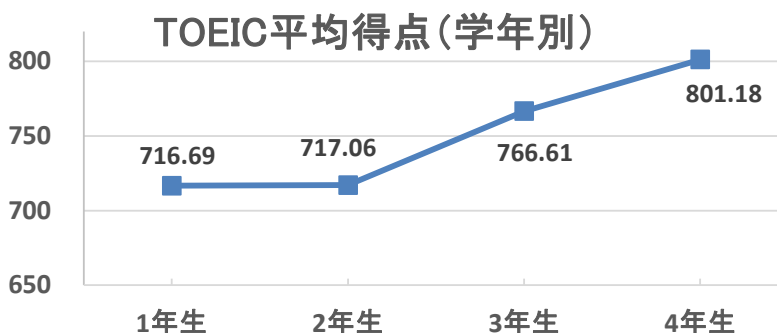
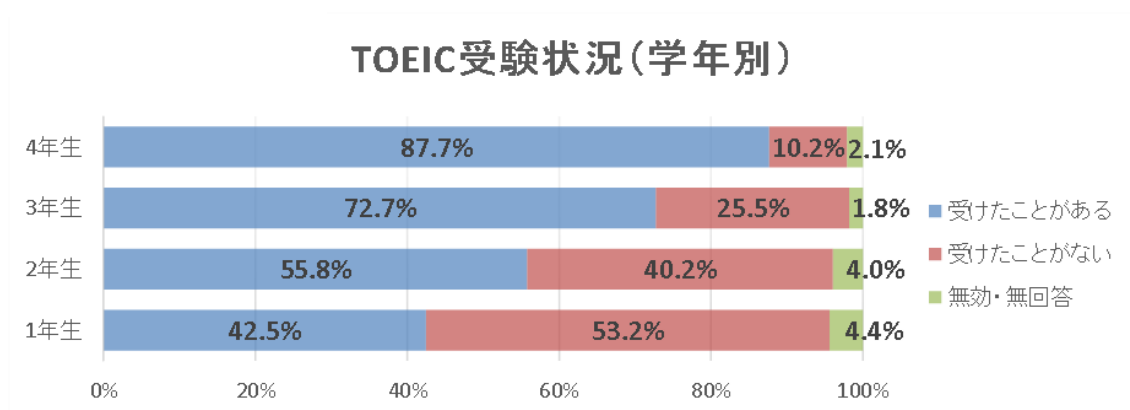
資格	学科	2015	2016	2017	2018	2019	2020
学校図書館 司書教諭	英米	1	2	1	0	0	0
	ロシア	0	1	0	0	0	0
	中国	0	1	0	0	0	0
	イスパニア	0	0	0	0	0	0
	国際関係	0	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	0	0
	科目等履修生	0	0	2	0	0	0
	大学院生	0	0	0	0	0	0
	合計		1	4	3	0	0



2-7 語学運用能力の成長

※2019年11月実施「第2回学生生活調査」より（回収率71.8%） n=1,303

■英語運用能力の伸び



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

【ロシア学科3・4年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生	1	1	3	17	22
4年生			4	25	29
合計	1	1	7	42	51

・ロシア語検定試験

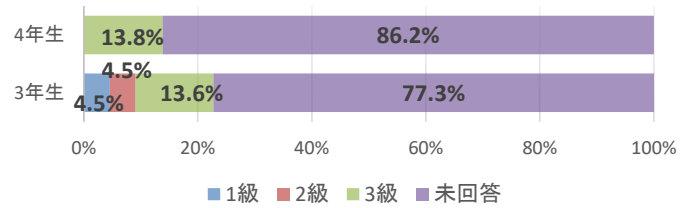
	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生	1	1	1		19	22
4年生	2	2	2		23	29
合計	3	3	3		42	51

※アンケート回収率

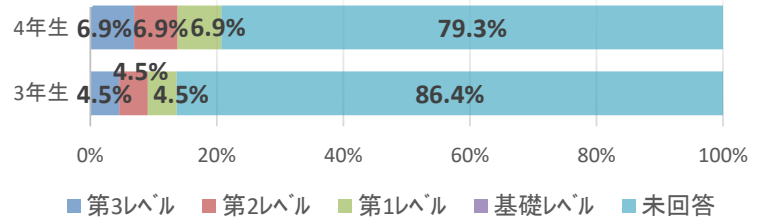
3年生回収率 62.9% (n=22)

4年生回収率 67.4% (n=29)

ロシア語能力検定



ロシア語検定試験



【中国学科3・4年生の受験状況】

・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	6	4	4	1	13	28
4年生	25	10	1		4	40
合計	31	14	5	1	17	68

・中国語検定

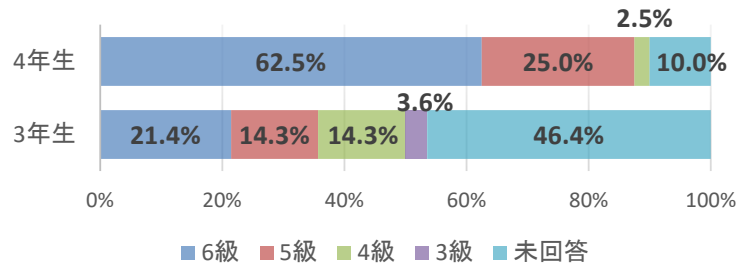
	1級	2級	3級	4級	未回答	合計
3年生				1	24	25
4年生			2	1	35	38
合計			2	2	59	63

※アンケート回収率

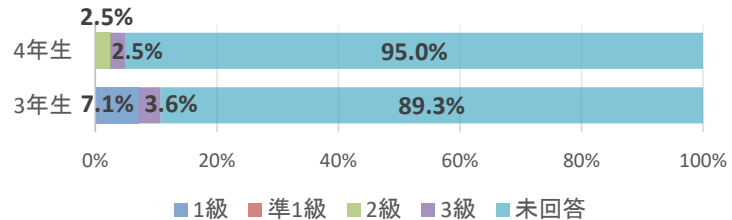
3年生回収率 62.2% (n=28)

4年生回収率 67.8% (n=40)

HSK



中国語検定



【イスパニア学科3・4年生の受験状況】

・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	未回答	合計
3年生				1	24	25
4年生			2	1	35	38
合計			2	2	59	63

・DELE

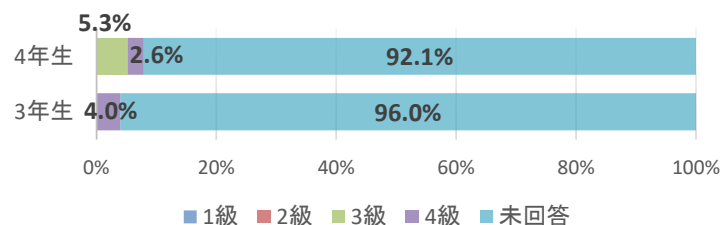
	C	C1	B2	B1	未回答	合計
3年生			2	1	22	25
4年生			5		33	38
合計			7	1	55	63

※アンケート回収率

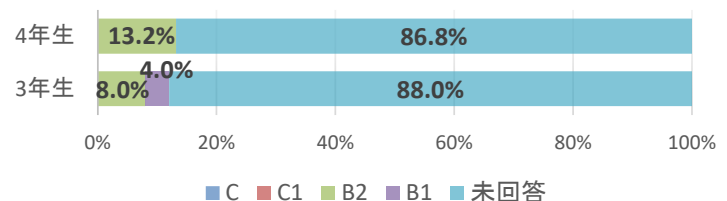
3年生回収率 65.8% (n=25)

4年生回収率 76.0% (n=38)

スペイン語技能検定



DELE



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2020年度）

外国語コンテスト等

第38回全日本中国語スピーチコンテスト兵庫県大会

10月17日（土）、神戸市教育会館で「第38回全日本中国語スピーチコンテスト兵庫県大会」が開催され、朗読部門で中国学科1年の井上太陽さんが優勝、中国学科2年の刀禰千春さんが準優勝、中国学科1年の才寺陽南子さんと中国学科1年の西田蒼暉さんが3位を受賞。弁論部門で中国学科3年の田林佳純さんが優勝、中国学科3年の仲西紅葉さんが準優勝しました。

第29回関西ロシア語コンクール

11月15日（日）大阪府社会福祉会館で、「第29回関西ロシア語コンクール」が開催され、上級部門でロシア学科4年の荒井梨菜さんが第1位、赤松樹さんが第2位・総領事館賞、柴垣愛梨さん、奥村紗貴さんが特別賞を受賞。中級部門でロシア学科2年の中井知瑛さんが第1位を受賞。初級部門でロシア学科1年の嶋ゆららさんが第3位、馬場日南さんが特別賞を受賞しました。

第38回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会

第38回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会朗読部門で中国学科2年の刀禰千春さんが朗読部門・大学生の部で最優秀賞を受賞しました。

第12回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト

11月28日（土）、中華会館東亜ホールで「第12回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト」が開催され、創作部門で中国学科4年の中谷友香さんが最優秀賞を受賞しました。

第6回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト2020

「第6回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト」で国際関係学科3年村井天音さんが最優秀賞を受賞しました。

スポーツ関係

第13回神戸カップアマチュアキックボクシング空手選手権

7月12日（土）、神戸市立王子スポーツセンターで「第13回神戸カップアマチュアキックボクシング空手選手権」が開催され、英米学科4年の鮫島正寛さんが優勝しました。

第2回ヴィクトワール・バレエコンペティション京都2021

2月19日（金）～2月21日（日）に、「第2回ヴィクトワール・バレエコンペティション京都2021」が開催され、ロシア学科1年の高田美羽さんが優勝しました。

その他

BE KOBE ミライセッション 2020

11月8日（日）、神戸ポートピアホテルで「BE KOBE ミライセッション 2020」が開催され、第2部英米学科2年の川上陵哉さんが感謝賞を受賞しました。

BE KOBE FILM AWARD2020

10月30日（金）、神戸三宮シアター・エートーで「BE KOBE FILM AWARD2020」が開催され、国際関係学科4年の坂本憲翔さんが最優秀作品賞を受賞しました。

第40回こうべユース賞

2月5日（金）、英米学科4年の西尾あいりさんとボランティアコーナースタッフの学生が第40回こうべユース賞を受賞しました。

■語劇祭・・・本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面での開催を中止としたが、さまざまな工夫を凝らしつつオンライン上で開催した劇団もある。

オンライン公演情報

英米語劇団 演目『BOX』 脚本：山菜

シャルロットの部屋に突然現れた不思議なBOX。なんとそれは見知らぬ人と会話ができる機械だった！BOXを通し4人の少女は奇妙な関係を築く。やがて、互いの価値観に触れることによりそれぞれの心に変化が生まれるが……。彼女たちの運命は？BOXの正体とは？

第2部英米語劇団 演目『Touched by An Alien』 作：D. M. Larson

エイリアンを探し、それらを研究する彼ら「宇宙捜査官」。銀河系連合規約（通称GCC）に基づき、惑星を捜査中。今日もエイリアンを追いかけて回して、捕まえたり逃げられたり……。そんな4人のある日を切り取った、宇宙系ゆるゆるコメディ。

中国語劇団 演目『你好，打劫！』（本当の強盗は？） 作者：饶晓志

とある閉店間際の宝石店が強盗に襲われる。犯人のサリーとベンは宝石店員を人質に立てこもる。早く帰りたい・・・人質たちから不満が噴出し、窮地に陥ったサリーはとんでもない作戦を思いつく！2人はなぜ宝石店を襲ったのか？宝石店員たちは無事に帰ることが出来るのか？本当の強盗は一体誰なのだろうか・・・？

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2015年度以前に終了した採択研究課題は掲載していない）

【基盤研究（A）】

研究課題名	採択年度	最終年度
チベット語最古層の形成とその構造推移 ーデータベース解析による辞書と歴史文法の編纂	2012	2017

【基盤研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2021
感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	2018	2021
環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究	2020	2023
西チベットにおける古チベット語碑文の総合的研究 ～岩石碑文の歴史的意義の再検討～	2020	2024
適性処遇交互作用に基づく英語語彙学習の最適化に向けた指導法データベースの構築	2020	2023

【基盤研究（C）】

研究課題名	採択年度	最終年度
十八世紀末ウィーンにおけるメディアとしての銅版画	2012	2017
ガイドブックの詩学—19世紀湖水地方における文化的景観の変容と文学観光	2013	2016
ロシア宗教ルネサンスの思想と世界戦争	2013	2017
近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨：広域流通、政治・文化表象、慈善	2013	2016
中国環境訴訟における受理プロセスの実態と環境被害者救済の課題	2014	2017
バスク語諸方言の文法記述（「親世代」と「子世代」のこぼの違いをめぐって）	2014	2018
東南アジア大陸部北部地域の諸言語の地域特徴と接触による言語変容の研究	2014	2016
予定調和を崩す構造を備えた外国語アクティビティの開発と研究：即興劇の手法を用いて	2014	2016
Empirically Grounded Training Materials for International Negotiation	2014	2017
19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界	2014	2017
政策評価分析の手法による資本規制と為替制度に関する実証研究	2014	2017
Japanese Shakespeare in the New Millennium	2015	2017
主節現象の統合的説明に向けた研究：話題化構文を中心に	2015	2017
ロシア語の動詞語形成の包括的記述—複合概念の形成と言語的世界像	2015	2018
強勢・アクセントの型のパリエーションの日英語比較：可能な型の範囲と普遍性	2015	2018
産業ごとの産出の人的資本弾力性の差異と貿易構造に関する動学的研究	2015	2018
ジェイムズとハーンの〈海を越える語り〉：アメリカ帝国主義とトランスナショナルリティ	2016	2018
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
現代スペインの諸言語の音声・音韻的現象に関する対比的研究	2016	2018
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
清代の満漢対訳会話書類に関する総合的研究	2016	2018
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
他動性に対する「視点」の作用に関する日中対照研究：認知意味論に基づいた誤用分析	2016	2018
自由貿易協定の政治経済学的分析	2016	2018
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
20世紀中国の文学形式と抒情の定型—ジャンル・言語・地域の越境面から見る	2017	2019
近現代南アジアにおける中下層の消費と社会・文化表象：軽工業製品雑貨の市場の多様性	2017	2019
成熟経済でのバラッサ・サミュエルソン効果の有効性—労働市場の構造変化との関連から	2017	2019
江戸時代の俳諧文化における画家・絵画評価とその画壇への影響の研究	2018	2021
Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"	2018	2020

ロシアの亡命思想家と戦間期の西欧思想	2018	2022
節の切り詰め効果に関する研究:局所性制約に基づく説明の発展・深化に向けて	2018	2020
Building a corpus of ELF (English Lingua Franca) user negotiated interactions	2018	2021
開発と地域住民によるローカリティとアイデンティティの再編に関する人類学的研究	2018	2020
裁判官人事システムの経済学的分析	2018	2021
新出文献に基づく中世チベット仏教伝播後期における空白期間の総合的解析	2019	2021
ヘンリー・ジェイムズをめぐる翻訳と解釈—東洋と西洋をつなぐ新・国際挿話>の創出	2019	2022
言語変化パターン解明に向けた彝文字地図作成及び彝語コーパスの構築と活用	2019	2021
日本語と中国語の結果複合動詞の分析:「視点」と「主観性/主体性」の観点から	2019	2021
現代バスク語諸方言の音韻と文法の記述 ~地域差と世代間差の二つの側面から~	2019	2021
A Genre Analysis Approach to Effective Writing in Multilateral Diplomacy	2019	2022
アンチダンピング関税発動の経済分析:その要因と効果	2019	2021
小学生の言語的課題の解決に向けた日本語学・心理学の連携的研究	2019	2022
中国における情報手段の発達と環境政策への市民参加に関する研究	2019	2022
Linking Vision and Language through Computational Modelling	2019	2023
ロシア・バレエの越境的展開に関する研究と国際的ネットワークの構築及び発信力の強化	2020	2023
オビ川下流域のウラル系少数民族の言語使用実態の研究	2020	2023
近代インドにおける装身品と嗜好品:国内市場志向型低価格商品の勃興とその模造的文脈	2020	2022
因果推論の手法を用いた国際金融の諸問題の影響の解明	2020	2022
投資家の不均一性が情報開示に与える影響に関する理論的研究	2020	2022
現代マレーシアにおけるムスリムの仏教観と宗教多様性—宗教研究者の言説を中心に	2021	2024
ロマン主義詩の引用・借用・援用—英国湖水地方の文化的景観とワーズワス受容の諸相	2021	2024
清代の満洲語文法書類に関する研究	2021	2023

【挑戦的萌芽研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
第3言語学習者の言語コントロールと認知コントロールに関する横断的・縦断的研究	2016	2018

【挑戦的研究（萌芽）】

研究課題名	採択年度	最終年度
日米の相互関係による核イメージの構築・変容・社会的影響に関する研究	2018	2020

【若手研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
権限と人事の契約理論的分析	2013	2016
会計情報に対する意見不一致が及ぼす影響に関するモデル分析	2013	2016
中国近代文学における白話文体形成とジャンル間影響: 欧化・方言・文言吸収の諸相から	2013	2016
日本イスラム教団の布教活動とその日本イスラーム受容史における位置づけ	2014	2016
中央アジア出土史料による古代チベット帝国の文書行政システムの研究	2014	2016
11-13世紀におけるチベット仏教カダム派の研究—寺院を中心として	2015	2017
ドホイ語の言語文化記述の基盤作成	2015	2018
一時帰郷としてのルーツ観光体験が移民子孫の心理に及ぼす影響	2016	2018
出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明	2017	2019
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

【若手研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
タイ上座仏教海外派遣僧プログラムの布教方針とその英国における実践形態の分析	2018	2020
サイト・トランスレーションに関する理論的・実証的研究	2018	2021
武力紛争に至らない自衛権行使の時間的・事項的範囲	2018	2020
契丹大字と契丹小字の比較に基づく契丹大字表記システムの解明	2018	2020
英米探偵小説における隠れた言葉遊びの使用法	2019	2022
黄金期探偵小説における男性性表象	2019	2022
ペラルーシ共和国のロマ(ジプシー)の方言の記述言語学的研究	2019	2021
宋元代の音韻資料に基づく中国語音韻史の理論的研究	2019	2021
日本人スペイン語学習者の書記コミュニケーションに関する中間言語語用論的研究	2019	2021
脱植民地期フランスの政治主体論—エティエンヌ・バリバルを中心に	2020	2023
新デイヴィッドソン主義事象意味論と項構造の廃止	2020	2021
ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』再考:原爆をめぐる言説形成の視点から	2020	2022
蔡大鼎『欽思堂詩文集』の総合的研究—漢詩文に現れる近世琉球土族の生活・教養・交流	2021	2024
現代スラヴ諸語におけるアスペクト的意味および行為的意味の対照言語学的研究	2021	2025

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
現代中国の文芸一家——王嘯平、茹志鵬、王安憶の文学テキストの総合的検討	2018	2019
ヴォイヴォディナ・ルシン語の動詞語彙の意味と語源に関する共時的・通時的研究	2018	2019
対音資料による唐代音韻史の研究—初唐期を中心に	2019	2020

【特別研究員奨励費】

研究課題名	採択年度	最終年度
現代漢語「複用」文と「後置」文の機能的分析—文末要素の語気助詞化傾向分析を中心に	2015	2016
台湾オーストロネシア諸語におけるアタヤル語群と西部平原諸語の系統研究	2017	2018
露文資料を用いた近代中国語の研究	2021	2022

【国際共同研究強化（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
インド北東部の消滅の危機に瀕した言語文化のドキュメンテーション	2019	2022

【研究成果公開促進費（学術図書）】

研究課題名	採択年度	最終年度
〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語—アスペクト表現のロシア語・日本語対照研	2021	2021

■科学研究費獲得状況

(1) 申請件数、採択件数、採択率

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
申請件数	20件	21件	20件	27件	29件	21件
基盤研究 (A)	0件	0件	0件	1件	1件	0件
基盤研究 (B)	2件	3件	5件	6件	2件	4件
基盤研究 (C)	9件	7件	7件	11件	17件	7件
その他	9件	11件	8件	9件	9件	10件
採択件数	9件	12件	8件	13件	17件	9件
基盤研究 (A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	0件	0件	1件	1件	0件	2件
基盤研究 (C)	5件	7件	4件	7件	10件	4件
その他	4件	5件	3件	5件	7件	3件
採択率	45.0%	57.1%	40.0%	48.1%	58.6%	42.9%

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(2) 継続研究件数

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
継続件数	25件	26件	27件	22件	26件	35件
基盤研究 (A)	1件	1件	1件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	0件	0件	0件	1件	2件	2件
基盤研究 (C)	16件	17件	21件	15件	15件	20件
その他	8件	8件	5件	6件	9件	13件

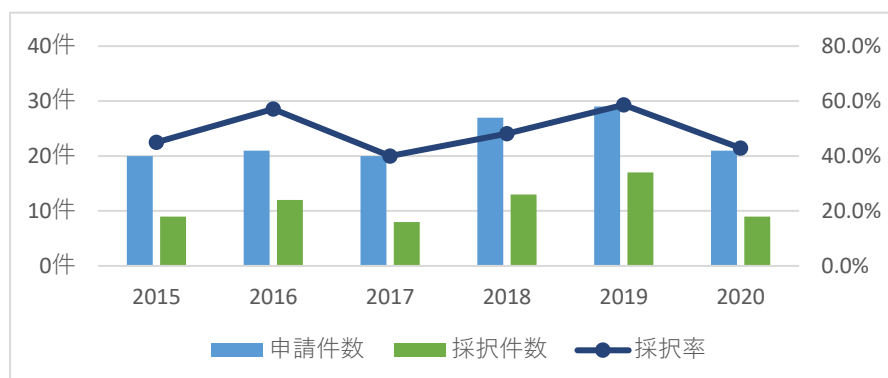
(3) 研究課題数合計

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
合計件数	34件	38件	35件	35件	43件	42件
基盤研究 (A)	1件	1件	1件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	0件	0件	1件	2件	2件	4件
基盤研究 (C)	21件	24件	25件	22件	25件	23件
その他	12件	13件	8件	11件	16件	15件

(4) 執行額

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
執行額合計	50,646	43,627	56,031	55,999	63,029	41,003
直接経費	39,305	34,144	43,131	44,047	48,863	23,696
間接経費	11,341	9,483	12,900	11,952	14,166	17,307

(単位：千円)



3-2 学術論文

※執筆者の肩書は執筆当時のものを記載。また、号によっては一部肩書きを省略しているものがある。

■外国学研究（2015～2020年度）

発行年月	号数	タイトル		執筆者
2015年 3月	86	英語教育と日本語	英語教育における日本語の役割	教授 村田 純一
			パラフレーズによる英語リーディング指導	関西学院大学 教授 長谷 尚弥
			心理言語学的手法によるバイリンガリズム研究からの知見：教室での使用言語について	准教授 星野 徳子
			小学校国語教育と英語教育 その導入期の教材と指導について	教授 横田 玲子
2015年 3月	87	英語学基礎科目における教授方法の研究	可算と不可算の不可思議 学校英文法から英語学の発想へ	教授 山口 治彦
			「空耳アワー」にみる音の類似と弁別素性	教授 三間 英樹
			文の階層性と文法現象	准教授 那須 紀夫
			Be Going To はどのような仕組みで未来を表すのかについて、たどたどしく考える Even If に見る Even の力	教授 本多 啓
2015年 3月	88	越境する女性詩人たち—モダニズム再考	モダニズム、そして、それから：マリアン・ムアーとエリザベス・ビショップ	神戸女学院大学 名誉教授 別府 恵子
			「マティス」と「ピカソ」—ガートルード・スタインの文学的肖像と反復	神戸女学院大学 教授 三杉 圭子
			モダニズムのコラボレーション—H.D.の映像製作と詩	神戸市外国語大学 非常勤講師 三宅 あつ子
			"A Litterbug"詩学—ミナ・ロイのモダニズム	教授 難波江 仁美
			受難における連帯：Edith Sitwell, "Still Falls the Rain"における聖書の引喩	教授 西川 健誠
			ローウェルとキーツ	近大姫路大学 非常勤講師 谷川 由記
			狂気と正気のはざま—バロネス・エルザの軌跡 荒地から耕地へ—Vita Sackville-West の The Land(1926)	教授 辻本 庸子 准教授 吉川 朗子
2015年 12月	89	ENSEÑAR ESPAÑOL EN JAPÓN Guía sobre algunos aspectos de la enseñanza a japoneses	教授 Montserrat Sanz Yagüe 南山大学 教授 Arturo Escandón Godoy 講師 Juan Romero Díaz 神戸市外国語大学 非常勤講師 Danya Ramírez Gómez 神戸市外国語大学 非常勤講師 Roger Civit i Contra	

2015年 12月	90	Storytelling: Repositioning Literary Texts in Language Teaching	Repositioning Literary Texts in Language Teaching: The State of the Art	教授 Donna Hurst Tatsuki
			The "Ripple Effect" of Literary Texts: Researching, Translating, Applying	Sapienza University of Rome Marina Morbiducci
			Communicative Methods for Using Literature in the EFL Classroom	Iwate University Bern Mulvey
			With Challenge and Support: Integrating Skills, Language and Content in a Literature Unit in EFL for Japanese Learners	准教授 Lori Zenuk-Nishide
			Three Men in a Boat: Jack, Guy and King Cole Teaching Language and Culture through Nursery Rhymes and Famous Proper Names	Tuscia University Alba Graziano
			Oral Stories and Storytelling for Language Teaching	Nanyang Technological University Soe Marlar Lwin
			Telling Stories to Children : The Waldorf/Steiner Education Approach	University of Hyogo Brian D. Bresnihan
			Tell me a Story: Oral Interpretation in the English Classroom	Nanzan University David Kluge
			Act it Out: From Drama to Literature	Kobe Shoin Women's University Frances Shiobara
			Storytelling and Literary Texts in ELT: Future Directions	教授 Donna Hurst Tatsuki
2015年 12月	91	ポスト・グローバル化社会にお けるスポーツ文化研究	序文	教授 竹谷 和之
			グローバル化統治に抗するバスク伝統 スポーツ	教授 竹谷 和之
			モンゴルにおけるスポーツ文化のグローバリ ゼーション ー〈世界〉へ参入する手法としての「スポーツ」 ー	奈良教育大学 准教授 井上 邦子
			「じか」「からだ」そして「にんげん」につい てー竹内敏晴の思想と実践にふれてー	椋山女学園大学 教授 三井 悦子
			体操競技の現状と問題性	大阪学院大学 教授 松本 芳明
			「体操」から「体づくり運動」へ	びわこ成蹊スポーツ 大学 教授 菅井 京子
			Sport for Tomorrow とスポーツボランティア ーコスタリカ、ペルー、エルサルバドルの調査 からー	東海大学 教授 松浪 稔
			河童のリアリティを求めてー「河童の相撲好 き」その底流にあるのはなにかー	21世紀スポーツ文化 研究所 特別研究員 竹村 匡弥
			『記・紀』にみる伝統スポーツー古代日本の 相撲とポスト・グローバル化ー	21世紀スポーツ文化 研究所 特別研究員 船井 廣則
			武術における「放擲」を考える	札幌大学 教授 瀧元 誠樹
古代からポスト・グローバル時代までのバスク	バスク州立チョリエ			

			地方と世界におけるスポーツ文化私論	リ中学・高校教諭 パブロ・アントニオ・マルティン・ボッシュ (アリチ)
2016年 12月	92	アジア言語論叢 10 (アジア諸言語の通時的、共時的的研究)	Bit Personal Pronouns in a Northern Mon-Khmer Context	京都大学 Center for Southeast Asian Studies Nathan Badenoch
			傾斜を軸とするセデック語パラン方言の民俗方位	京都大学大学院博士課程 落合いずみ
			チャック語の民話「バカのはなし」	客員研究員 藤原 敬介
			A Phonological Sketch of Akha Buli --- A Lolo-Burmese language of Muang Sing, Laos ---	准教授 林 範彦
			In Defense of Prepalatal Non-fricative Sounds and Symbols :towards the Tibetan Dialectology	オスロ大学/国立民族学博物館 鈴木 博之
			雲南中国語方言の声調体系の地理分布と系譜関係	青山学院大学 教授 遠藤 光暁
			青海大通方言の声調 - 基于土族話者の語料分析	松山大学 准教授 川澄 哲也
			韻書と等韻図Ⅱ (完)	教授 太田 斎
2019年 12月	93	20世紀東アジア: 越境する文学形式と思考の流動	章炳麟と張之洞-交錯する清末の国粹主義-	北京大学中文系 副教授 陸 胤
			章炳麟「讀仏典雜記」と井上哲次郎編『哲学叢書』	中国社会科学院近代史研究所 副研究員 彭 春凌
			少年雑誌の啓蒙性-山縣梯三郎の『少年園』と崔南善の『少年』-	福岡大学人文学部 講師 柳 忠熙
			「須講文法」再思	香港教育大学文学及文化学系 助理教授 李 婉薇
			魯迅、マンスフィールドと文学的モダニズム - 「幸福な家庭」を例に-	北京大学中文系 副教授 張 麗華
			周作人「美文」小攷 - 明治末期の日本文学を材源として-	北九州市立大学外国語学部 准教授 鳥谷 まゆみ
			雛形から完成形へ - 洪深と中国話劇の「近代」形態の構築-	武漢大学文學院 副教授 裴 亮
			他者性を目撃する - 「民衆」を記録する一人称の語り-	准教授 津守 陽
			"土"的再造: 战时中国的思想潜流	首都師範大学文學院 副教授 袁 一丹
			帝国を引き継ぐ文学形式 - 1992年以降の日本現代文学における北朝鮮表象、村上龍『半島を出よ』を中心に-	琉球大学法文学部 准教授 吳 世宗

■研究年報（2015～2020 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2016 年 3 月	53	What is reflective practice?	Jo TRELFA
		Use of epistemological lenses on the ambiguity of reflective practice: What is it to reflect on experience?	Ken TAMAI
		Reflection, emotion and knowledge of the self	Mark MONAHAN
		Whatever happened to 'reflective practice' ?	Jo TRELFA
		A reflective continuum: Development of reflection	Atsuko WATANABE
		Exploring, reflecting, and taking action through forms of 'practitioner research' and why professional development through research is essential for teachers and teaching	Ian NAKAMURA
		How the intersubjectivity of teacher and learner reflections contributes to transformative learning experiences	Joan M. KURODA
2016 年 12 月	54	Teaching Narratives	編者 立木 ドナ
		How to Teach Narratives : A Survey of Approaches	教授 立木 ドナ
		Oral Interpretation : Telling Stories with Our Whole Body	Nanzan University (Professor) David KLUGE
		Visual Plus Verbal : Improvisational, Collaborative Storytelling for Creativity	准教授 三野宮 春 子
		The Neuroscience of Stories and Why our Brains Love Them	Osaka Gakuin University (Professor) Curtis KELLY
		Narratives about Teaching : Remembrance, Reflection and Controversy	教授 立木 ドナ
		Self-narratives in Pre-/Post-visualization : Raising Language Learners' Emotivation and Awareness	University of Naples "L'Orientale", Italy (Associate Professor) Liliana LANDOLFI
		Reflections on a Model United Nations Simulation	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
2016 年 12 月	55	現代スラヴ・アспект研究の動向	編者 金子 百合子
		まえがき 活動報告	准教授 金子 百合子
		類型論におけるアспект論	ロシア科学アカデミ ー言語学研究所研究 室長 ヴィクトル・S・フラ コフスキー
		通言語的視点からのアспект	ロシア科学アカデミ ーヴィノグラードフ 記念ロシア語研究所 研究部門副所長 ヴラジーミル・A・ブ ルンギャン
		動詞の語彙的アспект	サンクトペテルブル ク国立大学教授 エレナ・V・ゴルボ ヴァ

		ロシア語の aspekto の語彙的および構成的要素	ロモノソフ記念国立モスクワ大学教授 セルゲイ・G・タテヴォソフ
		マースロフの aspekto 理論における主要概念	ロシア科学アカデミー全ロシア科学技術情報研究所首席研究員 エレナ・V・パードウチェヴァ
		動詞の体のスラヴ諸語間対照研究 ースラヴ語を背景にしたロシア語の体ー	ロモノソフ記念モスクワ国立大学教授 エレナ・V・ベトルーヒナ
2017年 12月	56	グローバル化周縁における伝統スポーツ文化研究 ー神戸市外国語大学・バスク大学第3回国際セミナーー	編者 竹谷 和之
		El sentido del deporte tradicional vasco en la era de la globalización	教授 竹谷 和之
		グローバル化とスポーツ	立教大学大学院教授 神戸外国語大学客員教授 西谷 修
		大相撲のパーспекティヴスポーツのグローバル化と伝統ー	21世紀スポーツ文化研究所主幹研究員 船井 廣則
		Juegos deportivos y emigración vasca: crítica de una educación física global	バスク大学 Joseba Etxebeste Otegi
		Práctica y transformación de las travesías de montaña en Oriente y Occidente	バスク大学 Axier Oiarbide Goikoetxea
		Las actividades físicas orientales en la oferta deportiva de Gipuzkoa	バスク大学 Estibaliz Romaratezabala Aldasoro
		Juego, cultura y educación. Hacia una educación física contextualizada	リエイダ大学 Pere Lavega Burgués
		Apuntes para una filosofía del deporte radical y global	リンフィールド大学 Jesús Ilundáin-Agurruza
		Epílogo	TAKETANI Kazuyuki / Joseba Etxebeste Otegi
2017年 12月	57	NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	編者 Lori ZENUK-NISHIDE
		Introduction to NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	准教授 ZENUK-NISHIDE / 教授 立木 ドナ
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2016	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Large Delegation Preparation through Co-Teaching and Co-Learning	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE / 京都外国語大学教授 Craig SMITH
		Pedagogical Meaning of the Cultural Visits for the Host University Volunteers: Through the Eyes of Leaders	教授 玉井 健
		Stakeholder Perspectives on NMUN Ceremonies	教授 立木 ドナ

		The UN Forum and Faculty Lecture at NMUN: Bringing Expertise to MUN Simulations	教授 立木 ドナ/准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		National Model United Nations and the First Student Press Corps: With a Thought on Journalism Education at Japanese Universities	准教授 繁沢 敦子
		NMUN Japan 2016: Sustaining Multilateralism, Cross-cultural Learning and Domestic Cooperative Internationalism	マキユアン大学准教授 Chaldeans MENSAH
		A Wonderful Experience in Japan for the German Joint Delegations from Erfurt and North Rhine-Westphalia	エアフルト大学 Sarah DURYEYEA / Thomas WEILER
		Improving the Interactions of English as a Lingua Franca (ELF) Users and Native Speakers of English	教授 立木 ドナ
		Diversity as a Catalyst for Competency Development through Model United Nations Classes	ウェストファーレン大学 Andreas MÜGLICH / Anna SEIDEL
		Model UN Class at University of Trier and Erfurt, Germany	トリーア大学 Ronny HEINZE
2018年 12月	58	MUN Perspectives on Teaching and Learning: A Focus on Negotiation	編者 教授 立木 ドナ /准教授 ZENUK-NISHIDE
		Interest-Based Negotiation and MUN:Equipping Youth with Appropriate Tools for a Better World	マーシー大学 Michiko KURODA
		Research is Key to Model United Nations Writing, Negotiating and Public Speaking	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		ELF in MUN Negotiations: Problematizing the Native Speaker of English	教授 立木 ドナ
		Using Getting to Yes to Teach English, Negotiation, and Other 21st Century Skills	カリフォルニア大学バークレー校 Barrie J. ROBERTS
		Speech, Drama, Debate, Negotiation, and the Model United Nations	南山大学 David KLUGE
		Debating at School in Italy	National Institute for Documentation, Innovation, Educational Research Letizia CINGANOTTO
		Improving Student Involvement in Discussions	甲南大学 Takara K. ALLAL-SUMOTO
		The Evolving Argument: Negotiating Improved Academic Writing Skills and Class Cohesion	名古屋大学 Robert Joel DEACON
		Negotiating the Challenges of Studying Abroad	神戸学院大学 Anthony C. TORBERT / Noriko NAKANISHI
2019年 12月	59	Language Policy, Innovations and Practices: A Tale of Two Countries	Editor Donna TATSUKI
		Introduction to Language Policy, Innovations and Practices : A Tale of Two Countries	Donna TATSUKI
		Historical Overview of Foreign Language Policies in Japan	Donna TATSUKI

		Current MEXT Policies and Goals : The New Course of Study for Elementary Schools	Keiko HARUOKA
		MEXT Policies and Learning Experience : Lifelong Learners of Languages other than English	Emi SHIBUYA
		Agents of change or products of compromise? How Japanese senior high school EFL textbooks (mis)represent foreign language curriculum reform	Gregory Paul GLASGOW / Daniel Leigh PALLER
		The Expected and Unexpected Failures of the Global 30 Program	Michael HOLLENBACK
		Higher Education Reforms : The Italian Case	Anna ROMAGNUOLO
		Teaching Practices and Learning Outcomes : Voices from the Field	Alba GRAZIANO / Patrizia SIBI
		Current Educational Policy in Italy : A Focus on Language Learning and CLIL	Letizia CINGANOTTO
2019 年 12 月	60	Topics in Middle Mekong Linguistics	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		The word for 'snake' in Th��marou, Bolyu, Bit, Kra, Jiamao, and Oceanic: A Lapita Connection?	James CHAMBERLAIN
		The Ethnopoetics of Sida Animal Names	Nathan BADENOCH
		Animal nomenclature in Jinghpaw	Keita KURABE
		Notes on Faunal Terms in At Samart Saek	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		Karen and Surrounding Languages	Atsuhiko KATO
		The Differences between the Tay and Nung Languages in the Trang Dinh District of Lang Son Province	Ayaka HIRANO
		On Two Venitive Verbs in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2021 年 2 月	61	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Fauna! Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asi	
		A Note on the Paleo-Ethnoherpetology of Giant Softshell Turtles (Trionychidae) in Kra-Dai and Austronesian	James R. CHAMBERLAIN
		Fishing the Uplands: A Linguistic Perspective on the Ethno-ichthyology of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		The Phonology, Morphology, and Semantics of Burmese Zoonyms	KeitaKURABE
		A Preliminary Report on Entomological Vocabulary in Sani Yi	KazueIWASA
		A Wordlist of Akha Buli Fauna with Reference to Areal Linguistics	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle-Mekong Region and outheast Asia	
		Grammaticalization of Some Verbs in Serial Verb Constructions in Nung	AyakaHIRANO
		Impersonal Construction with the Noun'Thing' in Subject Position in Pwo Karen	Atsuhiko KATO

■研究叢書（2015～2020 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2016年3月	第57号	チベット語文法研究	教授 武内 紹人
2016年3月	第58号	国際商取引における Soft Law	教授 中村 嘉孝
2016年12月	第59号	周法高『中國語文研究』訳注	教授 太田 斎
2017年12月	第60号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅰ）本文篇	教授 竹越 孝
2018年12月	第61号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅱ）補遺・索引篇	教授 竹越 孝
2019年12月	第62号	16世紀スペイン文学の傍流-エラスムス主義の影響の射程-	教授 野村竜仁
2020年12月	第63号	『老乞大』四種版本対照テキスト	教授 竹越 孝

※執筆者の肩書きは執筆当時のもの。

3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

■Research Project A (共同研究・研究交流を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	准教授 L.Nishide	Japan International Negotiation Project	4年
2015年度			
2016年度			
2017年度			
2018年度	教授 立木 ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4年
2019年度			
2020年度			
2021年度			

■Research Project B (研究会・討論会の開催を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 太田 斎	アジア諸言語の通時的・共時的研究	4年
2015年度			
2016年度	准教授 津守 陽	20世紀東アジア：越境する文学形式と思考の流動	3年
2017年度			
2018年度			
2019年度	教授 難波江 仁美	プラグマティズム再考：ジェイムズ兄妹とモダニティ	3年
2020年度			
2021年度			
2019年度	教授 田中 悟	公共調達をめぐる協調行動に関する法と経済学的研究 —関係的契約 (relational contract) の視点から—	2年
2020年度			

■Research Project C (科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 指 昭博	イギリス宗教改革と「プロテスタント国家」の再検討	1年
2015年度	准教授 星野 徳子	第3言語学習者の言語コントロールに関する横断的・縦断的研究	1年
2016年度	准教授 星野 徳子	バイリンガルの語彙・文産出メカニズムに関する認知神経科学的手法による比較研究	1年
2017年度	応募なし		
2018年度	准教授 L.Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1年

■国際会議・セミナー等開催支援

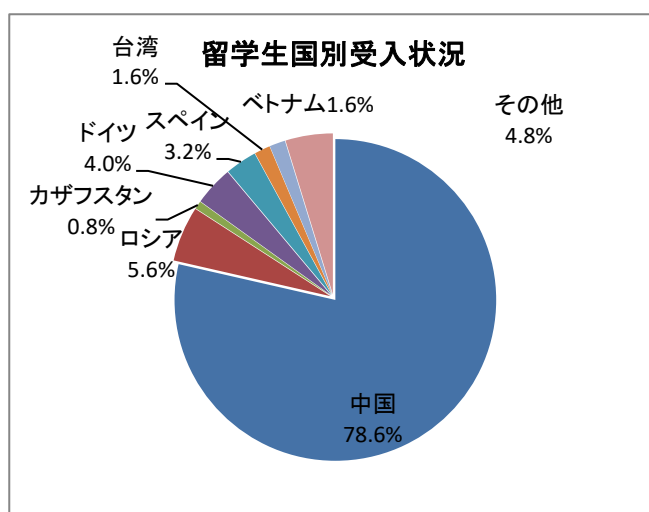
採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2014年度	教授 玉井 健	KCUFS Reflective Practice Conference 2014	2014/8/28-30
2015年度	准教授 金子 百合子	現代スラヴ・アспект研究の動向	2015/11/16
	教授 立木 ドナ	JALT PAN-SIG Conference	2015/5/16-17
2016年度	教授 吉川 朗子	ワーズワスと芭蕉：歩く詩人—21世紀における自然の価値	2016/10/29-30
2017年度	准教授 L.Nishide	Global Negotiation Symposium	2017/6/23-25
2018年度	応募なし		
2019年度	教授 任 鷹	The 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (国際中国語学学会第27回年次大会: IACL-27)	2019/5/10~12

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2020年5月1日現在）

国・地域	学部生	交流留学生 （日本語プログラム）	大学院生 （修士課程）	大学院生 （博士課程）	研究生	外国人研究生	合計
中国			53	17		29	99
ロシア		2	2	1		2	7
カザフスタン		1					1
ドイツ		5					5
スペイン		3	1				4
台湾			2				2
ベトナム			1			1	2
インド	1						1
タイ				1			1
ノルウェー			1				1
チリ			1				1
マレーシア	1						1
セルビア		1					1
合計	2	12	61	19	0	32	126



■学生の海外留学等状況

【交換留学（2015～2020年度）】

国名	留学先	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	-	-	-	-	-	
	オーガスタナ大学	3	2	2	1	1	
イギリス	ニューカッスル大学	2	2	2	2	2	
	ヨークセントジョン大学	-	3	2	2	2	
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	1	0	0	2	2	
カナダ	メディシンハット大学	1	0	1	1	1	
	レジャイナ大学	2	2	2	2	1	
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	1	4	4	2	2	1
	ミュンヘン大学	2	2	2	1	2	
ロシア	クバン国立大学	-	2	2	2	2	
	ウラル連邦大学	-	1	1	1	1	
	太平洋国立大学	-	-	2	1	2	
カザフスタン	カザフ国立大学	-	-	-	-	2	1
中国	天津外国語大学	1	1	1	1	1	
	東北師範大学	-	2	2	2	2	1
	北京語言大学	-	2	2	2	2	
スペイン	サラマンカ大学	2	2	2	2	2	
	サラゴサ大学	2	2	2	2	2	
	マドリード自治大学	1	0	1	0	2	
交換留学合計		18	27	30	26	31	3

【長期派遣(認定)留学(2015~2020年度)】

国名	留学先	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	アメリカン大学		1				
	イースタンワシントン大学	1	5	2			
	ウェバー国際大学				1		
	エヴァンスビル大学	1					
	エルマイラ大学	1*					
	オレゴン州立大学					1	
	カリフォルニア州立大学チコ校			1			
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校					1	
	キャロルカレッジ		1				
	クラリオン大学	1					
	コーネル大学	1					
	ニューヨーク州立大学オールバニ			1			
	ノースアラバマ大学					1	
	バークレー大学				1		
	ハートウィック大学				1	1	
	バルパライソ大学				1		
	ハワイ大学			1			
	ペンシルベニア州立大学				1		
	リンデンウッド大学ベレヴィル			1			
イギリス	エジンバラ大学	1					
	エセックス大学				1		
	ノーサンブリア大学					1	
	ブリストル大学			1			
	ヨークセントジョン大学					1	
	ランカスター大学	1					
	リーズ大学	5	2	4	2	1	
オーストラリア	グリフィス大学				1	1	
	サザンクロス大学	1	2	1	2	2	1
	スウィンバーン工科大学						1
	ニューサウスウェールズ大学				1		
	マッコーリー大学	1					
カナダ	ヴィクトリア大学		1				
	バンクーバー・アイランド大学	1	1				
	メディシンハット大学	1	1	3	1		
	レジャイナ大学	1	1				
フランス	リヨン第三大学		1				
ロシア	ウラル連邦大学		1				
	カザン大学			1			
	極東連邦大学					1	
	クバン国立大学			1			
	ゲルツェン記念ロシア国立教育大学				1		
	サンクト・ペテルブルク大学	1	2	3			
	太平洋国立大学	1		1			
	国立プーシキン記念ロシア語大学	1	1	2	2	2	
	モスクワ国際関係大学		1				
	モスクワ国立大学	3	4	3		2	
	リャザン国立大学			1			
ロバチェフスキー州立大学 ニジニノヴゴロド			1				
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	1					

中国	厦門大学					1	
	華東師範大学				1	2	
	上海師範大学	2	1	2		2	
	浙江大學					1	
	大連理工大学				1		
	中山大學	1					
	天津大学					1	
	東北師範大学	1		2	2	2	
	復旦大学	7	4	5	3	2	
	北京語言大学	4	1	5	3		
	北京師範大学				1	1	
台湾	国立成功大学	1					
	国立政治大学	1	1				
スペイン	アルカラ大学		1	1		1	
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター		1	1			
	グラナダ大学		1				
	サラゴサ大学		1				
	サラマンカ大学	1	3	1			
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学			1		1	
	国立通信教育大学			2			
	パブロ・デ・オラビデ大学						1
	バリャドリッド大学		1				
	マドリッド自治大学						1
	マラガ大学			1			
ラ・リオハ大学		2					
メキシコ	メキシコ国立自治大学		1				
認定留学 合計		42	43	49	27	31	2

※2015年の留学生数にはエルマイラ大学ダブル・ディグリー2年目の学生を含む(*印)。

【スペイン語圏派遣留学（2015～2020年度）】

国名	留学先	2015	2016	2017	2018	2019	2020
スペイン	アルカラ大学	1	2		2	3	不催行
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1	1	1	2		不催行
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1	1				不催行
	ラ・リオハ大学	2	8	5	3	1	不催行
メキシコ	メキシコ国立自治大学	-	-	2	2		不催行
スペイン語圏派遣留学合計		5	12	8	9	4	0

【短期派遣留学（2015～2020年度）】

国名	留学先	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	UCLA Extension	10	7	6	5	2	不催行
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	22	23	13	28	21	不催行
ロシア	モスクワ大学(夏季)	4	5	4	3	2	不催行
	モスクワ大学(春季)	2	5	5	2	4	不催行
中国	北京語言大学	7	9	4	7	2	不催行
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	7	2	2	5	不催行	不催行
	国立通信教育大学(春季)	4	2	2	1	不催行	不催行
短期派遣留学合計		56	53	36	51	31	0

※なお、別途「荻野スカラシップ」奨学金制度で、下記のとおり休学留学実績あり。

2015年度・・・ニューサウスウェールズ大学（1名）、モスクワ大学（1名）

2016年度・・・モスクワ国際関係大学（1名）、大連理工大学（1名）

2018年度・・・シンガポール国立大学（1名）

2019年度・・・中国人民大学（1名）、サンクトペテルブルク国立大学（1名）、グリフィス大学（1名）

※2020年度の留学はすべてオンラインで実施（春渡航者も帰国後オンラインに切り替えて修了）

【休学による留学・語学研修等（2020年度実績：大学把握分）】

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度に留学を開始した日本人学生は該当者なし。

【海外インターンシップ】

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
city'super香港インターンシップ派遣プログラム	2	5	2	2	2	0
上海インターンシップ		7	0	8	12	0
JETROサンフランシスコ事務所プログラム					1	0

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

	第3期 (2015前期)	第4期 (2015後期)	第5期 (2016前期)	第6期 (2016後期)	第7期 (2017前期)	第8期 (2017後期)
トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム	1	4	1	0	3	1

第9期 (2018前期)	第10期 (2018後期)	第11期 (2019前期)	第12期 (2019後期)	第13期 (2020前期)	第14期 (2020後期)
2	2	0	3	募集中止	1

※第12期採用者3名のうち2名はコロナ禍により渡航できず辞退。残り1名は、2021年11月留学開始予定。

※第14期採用者の出発時期も現在未定。2022年になる予定。

4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関

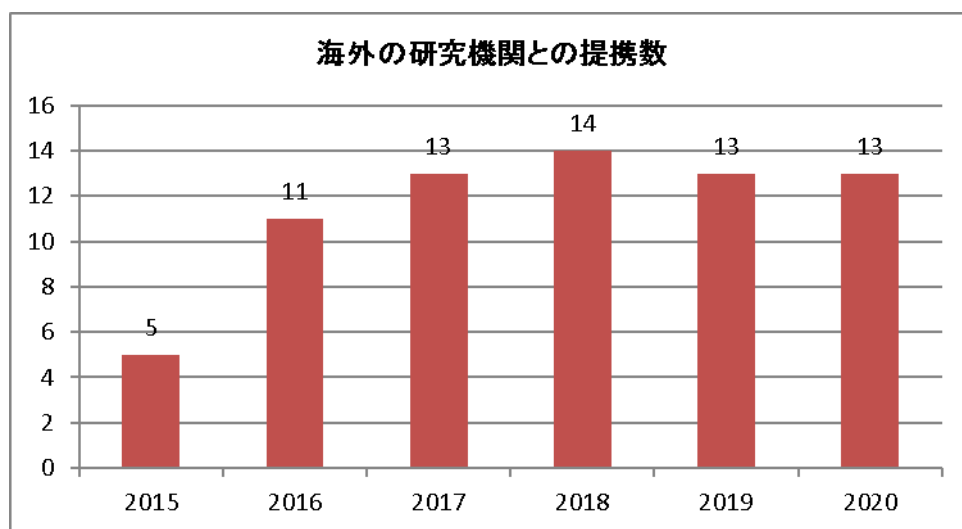
計 13 カ国 42 大学等 ★は 18 年度、☆は 20 年度の新規提携

国名	大学名	初回締結	学生交換	認定	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	1 名	○		
	エルマイラ大学 (ダブルディグリー)	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	若干名	○		
	★オレゴン州立大学	2019.1		○		
	UCLA Extension	2009.3			○	
イギリス	ノーサンブリア大学	2011.11		○		
	ランカスター大学	2001.7		○		
	リーズ大学	2007.9		○		
	ニューカッスル大学	2014.7	3 名	○		
	☆ヨークセントジョン大学	2015.8	2 名	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2 名			○
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学 (ダブル・マスター)	2014.3	5 名	院生のみ		
	ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	☆サザンクロス大学	2015.7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010.5			○	
カザフスタン	★カザフ国立大学	2018.7	2 名			
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	1 名	○		
	レジャイナ大学	2012.1	2 名	○		
スペイン	アルカラ大学	1994.6		○		○
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1989.11		○		
	サラゴサ大学	2014.10	2 名	○		
	サラマンカ大学	2013.6	2 名	○		
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		○	○	
	★ナバラ大学 (ダブル・マスターのみ)	2018.11		院生のみ		
	マドリード自治大学	2014.1	1 名	○		
ラ・リオハ大学	2007.10		○			
中国	上海師範大学	2012.10		○		○
	天津外国語大学	1983.7	1 名	○		
	☆東北師範大学 (15 年度学生交換開始)	2011.12	1-2 名	○		○
	復旦大学	1995.12		○		○
	☆北京語言大学 (15 年度学生交換開始)	2008.9	1-2 名	○	○	○
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4 名			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2 名			
フランス	☆オルレアン大学	2020.12	2 名			○
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ロシア語ロシア文化学院	1967 2006.2		○	○	○
	☆ウラル連邦大学	2015.4	1 名	○		
	☆クバン国立大学	2015.4	2 名	○		
	※太平洋国立大学	2016.6	2 名	○		

※オルレアン大学への交換留学派遣は当面の間、休学で実施する。

■海外の研究機関等との提携

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力 (交流)に関することを含む
ロシア	クバン国立大学	2015.4	
スイス	ベルン大学	2015.1	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術 協力(交流)に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力 (交流)に関することを含む
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
英国	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)	2018.2	
スペイン	ナバラ大学	2018.3	
インド	インド工科大学グワハーティー校	2019.2	
中国	南開大学文学院	2019.8	



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

2020年5月現在

【神戸市の行政、団体などとの協力（5機関）】

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際協力交流センター	市民の国際理解教育などの事業協力（神戸市国際交流フェアへの本学協力など）
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同企画や、本学生の実地見学など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。
神戸新聞文化センター	2018年度より市民向け公開講座を神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講。

【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力
全国外大連合	教育研究の内容に応じたさまざまな連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上

5-2 市民講座・公開講座等

■神戸市外国語大学提携講座

2018年8月に神戸新聞文化センターと連携協力に関する協定を締結し、2018年度後期より「市民講座」、「オープンセミナー」を統合し、「神戸市外国語大学提携講座」として神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講している。

2020年度実績（全講座中止）

講座名	講師	回数	受講者数
本当はおもしろいイギリス文学	御輿名誉教授	全12回	中止
日本の課題を数字で読み解く ～労働・企業・経済・貿易～	鎰谷准教授 石柁准教授 千葉教授 森谷准教授	全4回	新型コロナウイルス感染症の影響により後期に延期
日本の課題を数字で読み解く ～労働・企業・経済・貿易～	鎰谷准教授 石柁准教授 千葉教授 森谷准教授	全4回	中止

■公開講座（ユニティ）

ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

5-3 学生ボランティア活動

■2020年度学生ボランティア活動実績

分野	人数	内容
子どもの教育・生活	90	障がいのある子どもたちのお楽しみ会、中3生のオンライン学習支援、イングリッシュサポーター、生活困窮世帯の小中学生学習支援、不登校児の話し相手と学習支援、子ども食堂、外国人児童の学習支援
お年寄り支援	76	大学近隣のお年寄りとのお便り交流
国際交流	27	外国人留学生のオンライン日本語サポーター、Books for All、日本語学習を助ける会
地域振興	16	LINE講師、学園東町HP作成、西区向上委員会、まちバス出発式着ぐるみボラ
災害復興	2	被災地とのオンライン交流
消費生活啓発	1	地下鉄構内での消費生活啓発アナウンス
合計	212	

<学生の大学サポート活動>

分野	人数	内容
留学生支援	43	JPL留学生への生活、学習サポート
オープンキャンパス	20	オープンキャンパスでの来訪者対応
大学環境整備	17	花壇の花植え
合計	80	

6 教職員

6-1 教員数

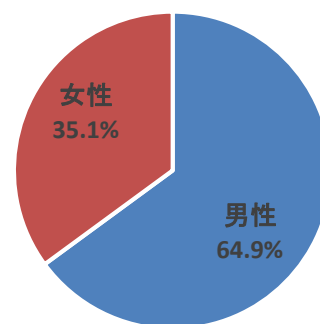
■職位別（2020年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		16	4	1	21
ロシア学科		3	3		6
中国学科		5	2		7
イスパニア学科		3	2	1	6
国際関係学科		10	9		19
総合文化グループ	1	10	7		18
合計	1	47	27	2	77

■男女別（2020年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	13	8	21
ロシア学科	3	3	6
中国学科	4	3	7
イスパニア学科	3	3	6
国際関係学科	14	5	19
総合文化グループ	13	5	18
合計	50	27	77

教員男女比



■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2020年5月1日現在）

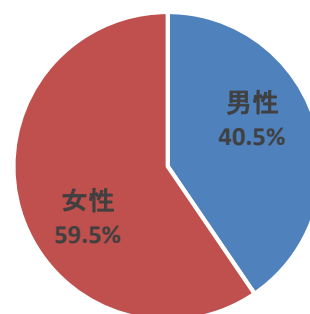
	人数	割合
全教員	77人	
①外国籍の教員	14人	18.2%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	19人	24.7%
③外国で通算1年以上(3年未満)の教育研究歴がある日本人教員	19人	24.7%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	2人	2.6%
①～④の合計	54人	70.1%

6-2 職員数

■所属別・男女別（2020年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営企画G	17	13	30
学生支援・教育G	9	19	28
研究所G	5	11	16
学術情報センターG	3	7	10
合計	34	50	84

職員男女比



7 財務状況

■財務状況の推移

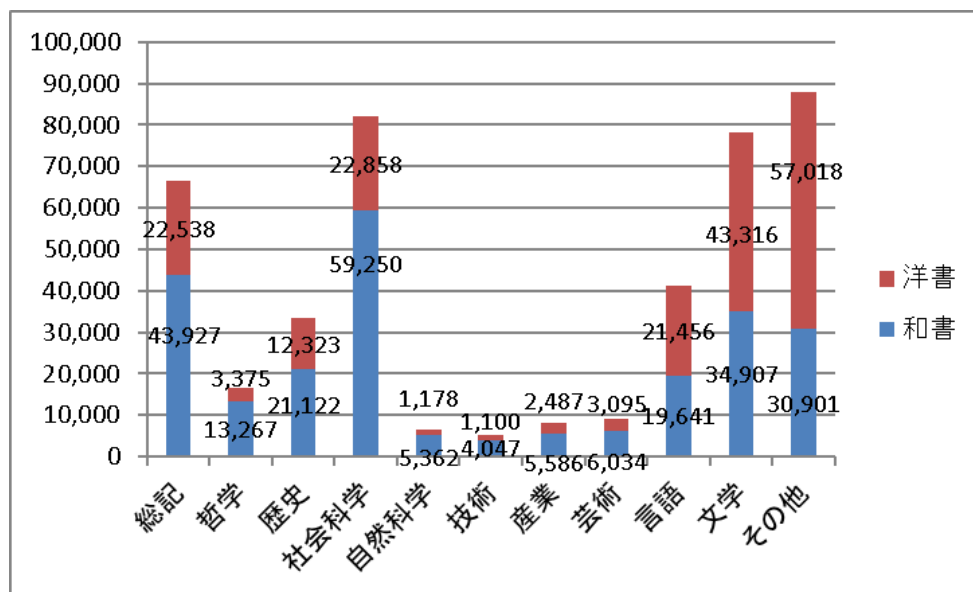
(単位：百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常費用	2,341	2,457	2,438	2,339	2,346	2,431
業務費	2,138	2,258	2,183	2,154	2,124	2,164
教育経費	233	242	230	256	248	376
研究経費	65	59	60	61	64	53
教育研究支援経費	89	99	83	67	68	69
受託研究費等	-	-	-	0	3	1
受託事業費	0	0	0	0	0	-
共同研究費	-	-	-	-	-	1
人件費	1,751	1,858	1,810	1,769	1,740	1,665
役員人件費	66	111	99	65	81	149
教員人件費(常勤)	1,084	1,126	1,096	1,096	1,021	885
教員人件費(非常勤)	152	151	162	167	175	167
職員人件費(常勤)	362	352	327	315	334	329
職員人件費(非常勤)	88	117	127	126	129	135
一般管理費	200	196	253	184	219	260
財務費用	2	2	1	1	4	6
経常収益	2,382	2,491	2,485	2,380	2,410	2,524
運営費交付金収益	1,072	1,155	1,162	1,102	1,098	1,218
学生納付金収益	1,162	1,165	1,168	1,128	1,149	1,174
授業料収益	951	950	955	904	933	966
入学金収益	181	178	182	185	184	174
検定料収益	30	38	31	38	33	34
受託研究等収益	-	-	-	0	3	1
受託事業等収益	0	0	0	0	0	-
共同研究収益	-	-	-	-	-	1
補助金等収益	-	0	0	0	0	1
寄付金収益	14	25	9	9	17	11
資産見返負債戻入	88	90	82	80	81	85
その他の収益	46	56	63	60	62	33
財務収益	4	2	2	2	2	2
雑益	42	54	61	58	60	31
経常利益(損失)	41	35	47	41	64	93
臨時損失	-	-	-	0	-	-
臨時利益	0	-	-	19	-	1
当期純利益(損失)	41	35	47	60	64	94
前中期目標期間繰越 積立金取崩額	10	14	14	14	12	4
目的積立金取崩額	-	3	9	-	-	-
当期総利益(損失)	51	51	70	74	76	97

※四捨五入により合計が合わない場合がある。

8 図書館

■蔵書冊数：434,788冊（和書：244,044冊 / 洋書：190,744冊）



■図書館利用状況（2015～2020年度）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
入館者数(人)	176,062	166,208	157,350	151,273	143,534	32,328
貸出冊数(冊)	44,110	42,031	44,625	42,462	39,459	21,071

2020年度入館者数（内訳：人）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
入館者数	17,554	1,990	9,505	691	2,588	32,328

2020年度貸出冊数（内訳：冊）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
貸出冊数	12,837	2,008	2,776	485	2,965	21,071

2020年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	159	146	2,588	2,965